

ことばの教室だより

令和7年11月
富士市立幼稚園

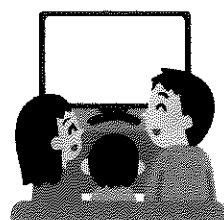
絵本の読み聞かせは、ことばを育みます

子どもは、家族の声が大好きです。絵本を読んでもらったり、おはなしや歌を聞いたりすることは、ことばを覚えたり興味・関心を広げたりする大切な機会です。

☆こどもの心の安定☆

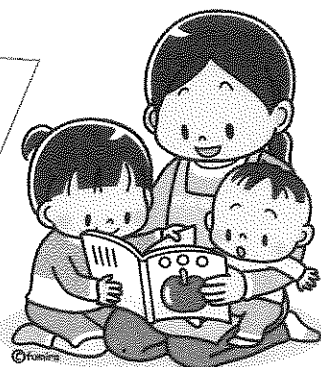
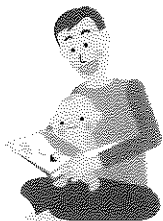
テレビ・DVDなどの映像メディアと親の語りかけには違いがあります。テレビは、子どもの興味関心に関係なく一方的にうつされますが、読み聞かせ時は、子どものペースで見たり会話したりしながら読み進めることができます。

お子さんを膝の上に乘せたり寄り添ったりしながら行くと人のぬくもりを感じることで、リラックス効果を得たり、安心感を抱くことができます。テレビなどは、できるだけ一緒に見て、会話を楽しみましょう。



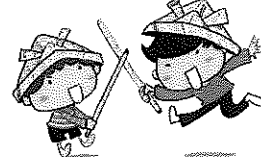
☆こころとことばを育てる☆

いろいろなことばに触れることで「これなあに?」「これは〇だよ」等考える力が育ち、人にかかわろうとする気持ちも育ちます。



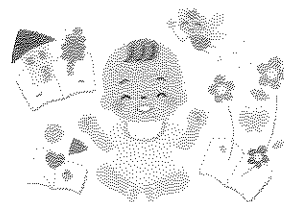
☆感情表現が豊かになる☆

絵本の登場人物になりきって、想像の世界でさまざまな体験をするようになります。喜び、怒り、悲しみ、楽しみ等、他人の感情や思いを知ることができます。



☆耳からお話を楽しむ☆

子どもは、ことばを耳で覚えます。耳からどんどん新しいことばを吸収していきます。ことばを覚えるとともに、耳から聞いて具体的なものや場面などのイメージを持ったり、さまざまな気持ちを感じたりすることが大切です。



・ひとりで本が読めるようになって、おはなしを聞く喜びは別物です。今度は、子どもに読み聞かせをしてもらったりしながら楽しみましょう。